

第 14 回環境コミュニケーション大賞（環境報告書部門）
採点基準①ー 7（環境金融報告特別優秀賞）（平成 22 年版）

環境報告書として優れていることに加えて、環境に関する投融資への取り組みに関する記述に優れた報告書。

1. M&A や投融資に当たっての環境配慮の方針 MAX 30
「3」 自社としての方針を公表し、PRI や赤道原則等に署名もしている、等
「2」 自社としての方針を公表している、等
「1」 環境配慮をするとの記述がある、等
「0」 記述なし

2. 目標・計画・実績等——金融機関 MAX 30
「3」 SRI を含め、環境配慮について優遇融投資するさまざまなプログラムについての目標と計画・実績が記載されている、等
「2」 環境の名前を関する融資についての記載があるが全運用額に占める割合は小さい、等
「1」 活動の全体を環境配慮型にしようという方向性がよみとれる、等
「0」 記述なし

2. 目標・計画・実績等——事業会社 MAX 30
「3」 M&A での環境配慮、年金基金の SRI 運営等について目標と計画・実績が記載されている、等
「2」 金融機関から受けた環境関連の投資融資の状況の記述、等
「1」 実績があるとの定性的記述がある、等
「0」 記述なし

3. 地域の街づくり等持続可能な社会作りに貢献する融資投資等 MAX 20
「3」 地域の街づくりに主体的に参加、貢献し、資金的にも応分の融資投資、寄付等を行なっている等
「2」 地域の街づくりになにかがしかの融資投資、寄付等を行なっている、等
「1」 何がしか行なっていることの記述がある、等
「0」 記述なし

4. その他の環境金融に関する取組（取引先の環境取組支援、等） MAX 10
「3」 大変すぐれている
「2」 普通
「1」 劣っている
「0」 記述なし

5. 総合評価 MAX 10
上記全体を総合勘案し、かつ独自の創意工夫や先導的な試み等も考慮し、総合評価する。

以上